

成人に対する CPR および AED スキルテストのチェックリスト



受講者氏名 _____ テスト日 _____

シナリオ:「あなたは心停止が疑われる傷病者のいる現場に到着しました。バイスタンダーによる CPR は行われていません。現場に近づき、周囲の安全を確認しました。その次に何を行うかを実演してください。」

評価と通報

- 反応の有無を確認する
- 大声で助けを呼ぶ/119 番への通報と AED の入手を依頼する
- 呼吸を確認する

『受講者が助けを求めたら、インストラクターは「ここに感染防護具があります。私は 119 番に通報して AED を取ってきます」と言う。』

CPR のサイクル 1 (30:2) 『*正確を期すため CPR フィードバック装置の使用が望ましい』

成人に対する胸骨圧迫

- 質の高い胸骨圧迫を実施する*:
 - 胸骨の下半分に手を置く
 - 15 秒以上 18 秒以内で 30 回の圧迫
 - 少なくとも 5 cm の圧迫
 - 圧迫するたびに胸が完全に戻る

成人に対する人工呼吸

- 感染防護具を使用して人工呼吸を 2 回行う:
 - 1 回の人工呼吸は 1 秒かけて行う
 - 人工呼吸 1 回ごとに目に見える胸の上がりを確認する
 - 10 秒以内に 2 回の人工呼吸を行う

CPR のサイクル 2 (サイクル 1 の手順を繰り返す) 『手順を正しく実施した場合にのみチェックマークを付ける』

- 質の高い胸骨圧迫を 30 回行う
- 効果的な人工呼吸を 2 回行う

『インストラクターが「AED を持ってきました。」と言う。』

AED (AED の音声ガイドに従う)

- AED の電源を入れる
- パッドを適切に貼る
- 解析のため離れる
- 安全に電気ショックを実施するため離れる
- 電気ショックを実施するためボタンを押す
- 受講者が直ちに圧迫を再開する

『AED トレーナーが「電気ショックを実施しました」と言う。』

CPR のサイクル 3 (サイクル 1 の手順を繰り返す) 『手順を正しく実施した場合にのみチェックマークを付ける』

- 質の高い胸骨圧迫を 30 回行う
- 効果的な人工呼吸を 2 回行う

テスト終了

インストラクターのメモ

- 受講者が正しく実施した各手順の隣にあるボックスに ✓ を記入する。
- 受講者が正しく実施できなかった手順がある (空欄のチェックボックスが少なくとも 1 つある) 場合、受講者は補習を受けなければならない。補習を必要とするスキルについて、ここにメモしておくこと (補習については、インストラクターマニュアルを参照)。

テスト結果 合格または要補習にチェックを付けて合格か補習が必要かを示す:

合格 要補習

インストラクターのイニシャル _____ インストラクターID _____ 実施日 _____

成人に対する CPR および AED スキルテストの重要なスキルの説明

1. 30 秒以内に傷病者を評価し, 救急対応システムに出動を要請する(胸骨圧迫開始前に行わなければならない)。周囲の安全を確認したら, 以下のことを行う。
 - 傷病者を軽く叩き, 大声で反応の有無を確認する
 - 大声で助けを呼ぶか, 周囲の人に 119 番に通報して AED を取って来るよう指示する
 - 呼吸をしていないか, あるいは普段どおりの呼吸をしていないか(死戦期呼吸のみ)を確認する
 - 5 秒以上かけて頭部から胸部を観察する(ただし 10 秒以上かけてはならない)
2. サイクル 1:質の高い胸骨圧迫を行う(心停止を認識したら直ちに圧迫を開始する)
 - 正しい手の位置
 - 胸骨の下半分
 - 両手を使う(置いた手の上にもう一方の手を置く)
 - 圧迫のテンポは 100~120 回/分
 - 15~18 秒間に 30 回の胸骨圧迫を実施する
 - 圧迫の深さと胸の戻り - すくなくとも 5 cm
 - 市販のフィードバック装置/マネキンの使用を強く推奨する
 - 圧迫を行うたびに胸が完全に元に戻るまで待つ
3. サイクル 1:感染防護具を使用して人工呼吸を 2 回行う
 - 気道を十分に確保する
 - 頭部後屈-顎先挙上法を使用する
 - 1 回の人工呼吸に 1 秒 かける
 - 人工呼吸は胸の上がりを目で確認できるように行う
 - 過換気を避ける
 - 10 秒以内に胸骨圧迫を再開する
4. サイクル 2:サイクル 1 と同じ胸骨圧迫と人工呼吸の手順を行う
5. AED の使用
 - AED の電源を入れる
 - AED が到着したら, すぐにボタンを押して, または蓋を開けて電源を入れる
 - 正しくパッドを貼る
 - 傷病者の年齢に応じた適切なサイズのパッドを, 正しい位置に配置する
 - 解析のため離れる
 - 傷病者から離れて, AED に心リズムを解析させる(機器によっては解析ボタンを押す必要がある)
 - 傷病者から離れるよう声をかけ, 自らも離れて手本を示す
 - 安全に電気ショックを与えるため傷病者から離れる
 - 傷病者から離れるよう声をかけ, 自らも離れて手本を示す
 - ボタンを押して電気ショックを与える
 - 電気ショックの実施後は, 直ちに胸骨圧迫を再開する
 - CPR 中は AED の電源を切ってはならない
6. サイクル 3:サイクル 1 と同じ胸骨圧迫と人工呼吸の手順を行う